

建築学科

学科理念・教育目標

建築学科は、「室内から都市全体の環境に至るまでを、快適な人間生活のための空間として総合的に計画し造形し得る人材を育てる」建築デザイン教育を基本理念とし、1965年に創設されました。価値ある生活環境の創出を目指し、幅広い教養、工学的知識と造形能力を身につけた建築家・デザイナーを育てることを目標としています。

建築学科では教育において、以下の視点を重視しています。

○ 建築には、人間の活動を支え、居場所となる良質な環境をつくる役割があります。室内から住宅、各種の建築、都市、地域、地球環境まで、人間の関わる空間すべてが学びの対象です。課程も自然科学、人文科学、社会科学、芸術学の領域に広がります。

○ 建築は、常に社会の仕組みと不可分の存在であり、建築行為はこの社会の仕組みに働きかけ、新たな社会の創造に関わります。建築を価値の表象としてとらえ、歴史的考察や現状把握のための分析能力を養います。

○ 建築は、常にそれが立地する場所に関わります。空間を構成する造形能力を習得するだけでなく、人間の生活の基盤である場所や地域と建築との有機的で豊かな関係の構築を考察します。

こうした内容を具体的な空間の設計として集約し、総合化する演習を最も重視しています。学部 の 4 年間を通じて、全員が必修科目として学ぶ「設計計画」は、その絶えざる探求にほかなりません。

造形学部 の ディプロマ ・ ポリシー (学位授与の方針)

DP1	専門的な知識を理解し深めることができる。
DP2	専門分野の基盤となる文化や諸科学について総合的に理解している。
DP3	制作・研究を深め広げる技能を身につけている。
DP4	他者に伝える表現能力および他者とともを考える対話能力を身につけている。
DP5	批判的思考を働かせ、課題や主題を自主的に設定することができる。
DP6	論理的思考・創造的思考を働かせ、独創的な課題解決の判断や構想ができる。
DP7	制作・研究に幅広い関心と高い意欲を持ち、社会のなかで主体的に取り組むことができる。

科目区分		1年次		2年次		3年次		4年次		
文化総合科目Ⅰ類		文化総合Ⅰ類カリキュラムマップ								
文化総合科目Ⅱ類		文化総合Ⅱ類カリキュラムマップ								
造形総合科目	Ⅰ類必修科目	造形総合・絵画Ⅰ								
		造形総合・彫刻Ⅰ								
	Ⅰ類選択必修	造形総合・絵画Ⅱ								
		造形総合・彫刻Ⅱ								
造形総合・デザインⅡ										
造形総合・工芸Ⅱ										
	Ⅱ類	造形総合Ⅱ類カリキュラムマップ								
学科別科目	Ⅰ類必修	設計計画Ⅰー1	建築設計基礎	設計計画Ⅱー1			設計計画Ⅲー1	設計計画Ⅳ		
		設計計画Ⅰー2	建築設計表現	設計計画Ⅱー2			設計計画Ⅲー2			
		図学								
	Ⅱ類必修	構造デザインⅠ		計画原論A	建築材料学・実験Ⅰ	都市デザインA	建築設備・実験Ⅰ			
				建築計画A	建築構法	建築計画C	建築意匠A			
	Ⅱ類選択			構造力学Ⅰ			建築法規Ⅰ	建築意匠B		
						建築施工Ⅰ				
		構造力学基礎	写真表現							
		基礎数学								
	Ⅱ類選択			建築概論A	都市デザインB	構造デザインⅡ	環境計画a	建築形態論		
				建築概論B	建築施工Ⅱ	建築設備・実験Ⅱ	環境計画b	庭園史		
				建築計画B	建築法規Ⅱ	建築材料学・実験Ⅱ	ランドスケープデザイン近代史	基礎造形		
				計画原論B	構造力学Ⅱ	造形演習	ランドスケープデザイン概論			
		エクスチェンジ・プログラムⅠ	コラボレイティブ・プログラムⅠ							
		エクスチェンジ・プログラムⅡ	コラボレイティブ・プログラムⅡ							
卒業制作								卒業制作		